

**2022 J3 順位表 第10節**

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

注: \*印は消化試合が数字分少ない

1	鹿児島	23p	+12	19	7
2	いわき	21p	+10	17	7
3	松本	21p	+8	17	9 H●
4	福島	19p	+11	14	3
5	藤枝	17p	+3	15	12 A●
6	富山	16p	+2	18	16 AO
7	長野	16p	+1	12	11 A△
8	宮崎	15p	+6	14	8
9	愛媛	15p	0	11	11 HO
10	岐阜	14p	+4	18	14 --- ---
11	今治	14p	-2	7	9
12	沼津	13p	-1	12	13 A●
13	讃岐	11p	-4	10	14 A●
14	北九州	9p	-5	7	12
1*15	相模原	7p	-7	5	12 HO
1*16	八戸	6p	-9	6	15
17	YS横浜	5p	-14	4	18 A△
18	鳥取	4p	-15	8	23 HO

**次回HomeGame**

第12節 vs.鹿児島ユナイテッド

6/12 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

**大酒場 ホームラン**

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

今日もここから  
串かつ一杯

煮込み **珍道中** 串かつ

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です

<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋  
通り

JR 岐阜駅  
北口より  
北西方面へ  
徒歩約10分

★  
アミカ

ドミ  
イン

JR  
岐阜駅

today's guest : **ヴァンラーレ八戸**

2021 J3 7勝8分13敗 勝ち点29:13位

直近の対決と結果

2021/11/21  
J3 - 28節@プラスタ

**八戸 2-1 岐阜**

富樫佑太 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	ヴァンラーレ八戸
2022/06/01 天皇杯 2回戦@パナスタ G大阪 4(延長)-2 岐阜	2022/05/29 J3 - 10節@ニンスタ 愛媛 3-1 八戸
2022/05/29 J3 - 10節@長野U 長野 2-2 岐阜	2022/05/22 天皇杯 1回戦@プラスタ 八戸 0-1 新潟医療福祉大
2022/05/21 天皇杯 1回戦@メドウ 岐阜 3-2 中京大	2022/05/15 J3 - 9節@プラスタ 八戸 1-0 北九州

●横山新監督の下で相模原に勝利し、中2日で5/18 (水) 第4節・ホーム鳥取戦を迎えたFC岐阜。FP全員を入れ替える策を採った岐阜は、#45 シドカの今季初ゴールなどで3得点、守備ではゴールを許さずに3-0。今季初の連勝を達成した。再び中2日で5/21 (土) に開催された天皇杯1回戦では、長良川球技メドウで愛知県代表・中京大学と対戦。中京大の素早い寄せと攻守の切り替えに苦しんだ岐阜は、2回リードされながら2回とも#51 石津大介のゴールで追いつく。そして遂には#38 藤岡浩介のゴールが決勝点となり、3-2で勝利。2回戦に駒を進めることとなった。そして5/29 (日) 第10節・アウェイ長野戦では、前半に#38 藤岡の5試合連続ゴールで先制点を奪い、1点をリードして折り返す。しかし後半は戦術を修正した長野の攻撃に耐えきれず、2失点。このまま敗戦かと思われた後半アディショナルタイム、#7 村田透馬のクロスをも#8 窪田稜が押し込んで土壇場で同点に。試合は2-2で終了し、何とか勝点1を手にすることができた。そして6/1 (水) に吹田で開催された天皇杯2回戦、対戦相手はJ1・G大阪。挑戦者として試合開始直後から攻める岐阜は、前半15分までに2得点を奪う。しかしG大阪は体制を対応させ、前半に1点を奪い、後半早々に同点に追いつく。その後は岐阜が粘り強く守り、また得点チャンスも作りながら互いに無得点で90分が終了。だが延長戦で2点を奪われ、最終的には2-4。格上相手に非常に悔しい敗戦を喫した岐阜。今季の天皇杯の道は断たれてしまった岐阜は、全力を残りのJ3リーグに注入する事となった。

さて、全34節の今季のJ3は10節を経過して、FC岐阜の順位は10位。ようやく岐阜もリーグ戦3試合負けなしを達成したが、他の上位チームも安定して勝点を稼いでいるため、なかなか急には順位を上げることはできない。首位・鹿児島との勝点差は9、2位・いわきとの勝点差は7。まだまだ上は見えてこない成績だが、決して諦めては勝ち続けて、少しずつ順位を上げてゆくしか、今のところは他に方法は無い。まずは、目の前の試合で何としても勝利すること。このことだけに集中して戦い続ける姿勢こそが、その先の未来へと繋がるだろう。

さて、今節の対戦相手は、ヴァンラーレ八戸だ。J3参入3年目の昨季は13位に終わり、今季は葛野昌宏監督が続投して昨季以上の成績達成を目指しているチームだ。しかし3年連続チーム得点王だった上形洋介の移籍などが影響し、今季も成績は低迷して現在は16位。そして6/1には、葛野監督が体調不良のため休養し、東純一郎HCが指揮を執ることが発表されている。今節は東HCの初戦となる訳だが、八戸は天皇杯1回戦で敗退しているため、5/29の試合から中6日かけて今節の準備を整えてきている。一方の岐阜は、長野戦から中2日のG大阪戦では延長戦まで戦い、そして中3日で今節の八戸戦だ。非常に過酷な日程で、コンディショニング的には圧倒的に岐阜が不利だが、そんな状況でも絶対に勝たなくてはならない。今節の勝利のためには誰を選ぶのか、横山監督の選手起用や采配に注目したいし、その起用に出来るべく奮起する選手たちに期待したい。岐阜の選手層の厚さがJ3レベルではないことを、今節も勝利することで証明して欲しい。

八戸との通算対戦成績は、2勝1分1敗・4得点2失点。昨季3/14 (日) ホームでの開幕戦は岐阜が試合を優位に運ぶものの決定機に欠け、スコアレスドロー。そして11/21 (日) 第28節アウェイ戦は、八戸の豊富な運動量に押し込まれて前半だけで2失点。後半に巻き返しを図るものの岐阜に決定機はなかなか生まれず、ようやく1点を返したところで試合終了。J2昇格の望みが完全に断ち切られた1-2での敗戦だった。今節は、あの屈辱的な敗戦を払拭しなくてはならない。

選手たちに疲労が蓄積して厳しいチーム状況の岐阜だが、ホーム戦という有利な要素もある。その要素を活かすためにも、僕らFC岐阜サポーターは精一杯の声援で、選手たちの後押しをしよう。ゲーフラを掲げ、旗やタオマフ・ペンライトを振ってスタジアムを緑色に染め、大きな拍手の音をスタジアムに響かせよう。チームが一丸となって全力で激しく泥くさく戦い、最後まで走り続けてゴールを奪い、そして最後には勝利する姿を、このホーム・長良川で僕らは再び見届けよう。チーム・フロント・サポーターみんなの気持ちを一つにすれば、それは実現できるはずだ。(ささたく)

**投稿募集 !!** gidaidohri@gmail.com

## 【第4節】岐阜 3-0 鳥取

●コロナ感染の影響で、いつ以来だかのミッドウィークナイトゲーム。こんな時でも万障繰り合わせてスタジアムに駆け付ける皆さんが素晴らしい。

さて相模原戦から中2日ということもあり、GK松本以外全員入れ替わりというまさにターンオーバーなスタメン。ンドカチャールスの先制ゴールのシーンは、その前で吉濱遼平がボール持ったときに「チャーリー動いて受けろ！」って思ったら、その通りやってくれてDF背負いながらの力強いゴール。これで吹っ切れて先発争いに割って入ってゴール量産を期待したいところ。

2点目の藤岡浩介、3点目の窪田稜のゴールは周囲と連動した中で生まれたゴール。横山監督になってから積極的に縦にボールを入れるシーンも目立つ。

守備の面では、予想だにしていなかった3バックの採用。少しずつ横山さんの色を出してきたところか。

そして試合中に守備の安定を図るためか、ヘニキと大西遼太郎のポジションを入れ替えたこと。あれはGJだったと思う(ヘニキはどうしてもボールに食い付き過ぎてポジションをお留守にしがちな癖があるので)。

AT突入してから藤谷匠が傷んで、交替枠を使い切っていたため数分間10人で戦わざるを得ない事態になったものの、2試合連続のクリーンシート達成！メンバーを大幅に入れ替えた中での3ゴール、クリーンシートは望外の喜びであった。ただそんな中で気になったのは田中順也。まだコンディションが上がってこないのか、あるいはチームのスタイルにフィット出来ていない状態なのか。精彩を欠く動きに終始して、後半早々ベンチに下げられるのも致し方なしといったところか。実績は申し分なしの選手なので、奮励努力と巻き返しに期待したい。

さて週末は天皇杯中京大戦。大学生といえど力は十二分にあるチーム。油断することなくしっかり勝ちきって、ガンバ大阪への挑戦権を掴みたい。(岐阜の誇り)

●岐阜にコロナ陽性反応者が出てしまい、開催中止となった代替試合での平日ナイター。まずは鳥取の関係者の皆様に心からお詫び申し上げます。そして中2日での連戦に、横山監督はどのような…と、なんとFP10人全員を入れ替えるスタメンですとっ！？いやあ……当然ながら鳥取もターンオーバーしてきてるけど、ここまでは。いやまあ、これは今季の岐阜の選手層が厚いということの証拠なんだと信じたい。んで、試合序盤はやや鳥取ペースで、徐々に岐阜が流れを掴むものの、なかなかシュートまでには至らないし、鳥取にもバイタルへの侵入を許してしまう。まあ岐阜は“セカンドメンバー”だから厳しいかも…とあってたら、この試合でも横山監督が修正に動く。たぶん#5ヘニキと#23大西遼太郎の位置を入れ替えたのかな？すると岐阜の守備が安定して、攻撃が活性化。前半36分には、縦に送られたボールに追いついて#45ンドカが相手DFを引きずりながらPAに侵入、強引に振り向きざまに撃ったシュートが先制点！いやあ、実に豪快なゴールでした。こういう少々強引でもゴールを狙うプレーを待ってたんですよ僕は！(笑)後半になると早々に、#15田中順也に替えて#38藤岡浩介を投入。すると、その#38藤岡がゴール前で切り返してシュート！その後は決定機をつくるも追加点が奪えない岐阜だったけれど、終盤に#8窪田稜が隅を狙ったシュートを決めて3点目のダメ押し！あとは失点をゼロに抑えて、3-0。最初はどうなることかと思っただけれど、終わってみれば完勝の試合だった。

この試合で僕が再認識したのは、『横山監督は試合中に、選手を入れ替えたりシステム変更をして修正するんだなあ』ということだ。いやまあ当初の試合プランがハマればその方が良いんだけど(苦笑)、そのプランに拘ることなく勝つためにどうするかを考えて実行してるんだなあ。それに対応する選手たちも大変だと思うんですが、僕も少し油断してる選手

のポジションやシステムが変わっているの、結構大変です(笑)。(ささたく)

●この日の屋台村は『カツ祭り』？で、しょうりゅうのスパイシーソースかつ丼とキリントスのハムカツをいただきました。美味すぎてビール3杯呑んじゃった(笑)ファミマとコラボのレジャーシートを2枚もゲットしちゃったけど、コレはなかなか良さげ。ありがとうございます！

ファンクラブの特典をもらいにいったら、親しげに話しかけてくるオニイサンがいて、ふと見たらナンバサダーwだった。「サインしましょうか？」と言ってくださったんで、一もにもなく。家宝にします！こちらもありました！さらに、【春ウイン】とかいうイベントで仮装もやって、GGGが学生服姿に。しっかりと、目の保養ができましたよ。カワイイ！

試合は、まあ、勝つべき試合をきちんと勝った……って感じ。少なくとも、相模原に勝ったんだから、この鳥取には勝たなきゃ……だもんね。相模原は、何であの順位なのかわからなかったけど、鳥取は、この試合を見る限りでは、この順位なのもわかるかなって。まあ、我々が言えた義理ではないんだけどねー。

しかし、3点リードしてるんだから、余力を持ってクローズできないものかな？なんで、交替枠使い切ってから10人になって必死に走り回らなきゃイカンのか。しかも、AT6分だし。いや、妥当なATだったけどさ。ま、負傷のケアに時間を取ったんだから仕方ないね。しかし、CBに負傷続出は痛い。早期復帰を祈ろう。でも、焦らないでしっかり治してね>タクミ

それから、チャーリーはウチでの初ゴール、オメ！藤岡は3試合連続！いよいよ、本領発揮かな。あと、服部のスタメンには、ちょっと目頭が熱くなった……。それにしても、相模原戦からマツタク以外を総とっかえとか。ターンオーバー、ここに極まれり、だな。余りにも見事過ぎて、仲間に指摘されるまで気づかなかったよ。なんか、隔世の感、ありまくりだ。次は天皇杯の1回戦。油断は禁物。しっかり勝って、初のパナスタへ連れてって～。(ぐん)

●相模原戦からFP全取り替えには気づかなかった(笑)けど、違和感は全然まったくなかった。『ギャンブル』じゃなくて『マネージ』の結果だと思うから。「目の前の試合を1つずつ」ではなく「この2試合で勝ち点6」をちゃんと考えてのプランだったのだろう。

3バックには驚いたけど、ヘニキのCBといえば「やっぱり前に釣り出されて彼の後ろが気持ちよく燃えてしまう」事案なんだけど、変わってなかったね(苦笑)。すると、前半途中にまさかの遼ちゃんとヘニキのポジション入れ替え。「横山さんって、柔軟だな～」と思ったし、「前任者(苦笑)って、意固地だったんだな～」とも思った。もし前任者がみうみうのままだったら、こんな点差になったかなあ……とも(苦笑)。不安点はタクミのケガと、あとはたなじゅんの盛り下がり。まのままでヤマヒロ、チャーリーの次の3番手だよ。(元・岐阜の)永島がベンチにもいなかったことで鳥取の攻撃に強い驚異を感じることはなかったし、寄せては来るけど寄せてくるだけだったので、それに怯まなければどうということとはなかった。勝ち点3を取らなければいけない相手に勝ち点3を取るサッカーをやって勝ち点3を取ったんだから、快勝と言っていいでしょうね。(吉田铸造)

## 【天皇杯1回戦】岐阜 3-2 中京大

●FC岐阜SECONDが所属する東海社会人リーグ2部。その1部リーグに2チームがいる中京大学。トップチームは東海学生リーグ1部に所属して、岐阜協立大よりも上位。つまり油断なんか微塵もできない対戦相手ということで。しかも向こうは中6日、こちらはターンオーバーしたとはいえ中2日。そりゃまあ、若さと勢いのある思い切りが良い大学生

チームに押し込まれますよね（苦笑）。連戦の疲労からか単なる連係不足のためか、岐阜の選手たちは足を止めてボールを受けようとする事が多くて。そこを中京大に素早く詰められ、練習を積んで迷いのないカウンターの餌食になる場面が何度も。そんな勢いのあるチームに守備の乱れから先制点をあげちゃえば、そりゃあ調子づきますよね（苦笑）。#51 石津大介のFK 1発で何とか同点に追いついたんだけど……。

と、ボランチで苦労していた#25 生地慶充をHTで左SBにして、#32 山内彰を投入。#32 山内は昨年まで東海学園大（東海学生リーグ1部）だから、対戦経験が買われたのかもしれない。それと、#25 生地はプレーエリアが狭まったからか、前半よりは安定して活躍できるようになったと思う。しかし、それでも勢いを抑えられない中京大に左サイドを突破され、そのままシュートを撃たれて2失点目。これは……と僕の脳裏には嫌なイメージが浮かんだけれど、今のチームには最後まで諦めないメンタルが備わっているようだ……というか、開幕戦から備えててちょうだいよ（苦笑）。#8 窪田と#45 ンドカを相次いで投入し、スピードとパワーで大人げなく本気を出して（笑）、優勢に立つ。流石の大学生でも、あの激しい動きはオーバーペースだったらしく、徐々に足が止まり始めたところで、ベテラン#51 石津の泥臭いダイビングヘッドで再び同点！これで試合の流れを完全に掴んだ岐阜。疑惑のオフサイド判定と長時間の中断もあったけれど（苦笑）、それでも集中力を切らすこと無く攻め続け、遂に#38 藤岡浩介の勝ち越しゴール！#45 ンドカが触ったようにも見えたけど、触れてないのを自覚しつつパフォーマンスする#45 チャーリーってば（笑）。

大学生相手にギリギリの勝負で何とか勝てたけれど、今のチームには勝利という結果が何よりも重要だろう。それに、素早く寄せてくるチームという意味では、今後のJ3上位陣への対応策も試せたと評価することができるだろう。そういえば、試合終了後に#7 村田透馬が中京大の誰かと親しそうに話してたけど、たぶん興国高の後輩かな？それと、やっぱり専用スタジアムのメドウはいいねえ……天候やら感染防止対策やらで入場者数が少なかったのは少し残念だったけれど、ここをのスタンドを魔改造して……とつい妄想してしまうのは、僕だけではなかったはずだ（笑）。（ささたく）

●先手を2回取られてからの逆転勝ち。さすがは愛知県代表・中京大学。後半30分まではハラハラ、ヒヤヒヤ……のし通しでしたよ。いいサッカーを見せてもらいました。特にMFの11番とDFの5番。ウチに来ないか？と声をかけてもいいと思いますよ。とりわけ、終盤に出てきたチャーリーの独走を止め切った5番の運動量と粘りには感心しました。アキラとも挨拶を交わしてたような？対戦したことはあるんでしょうね。あと、リードしてる時にGKが時間稼ぎっぽいプレーをしてたら、「時間ももったいない！」と叱ってた中京大の監督さん。まだ、そんな時間じゃないってこともあるけど、さらに点取って勝つ気満々でした。ステキです！

あ、ノーゴール判定のアレは入ってたと思うけどな。ま、ボクより主審のが近い場所で見てるからね。上から見る方がわかるってコトもあるけどね（笑）。いずれにせよ、足が止まってから、クボタンやチャーリーを出すのは鬼畜の所業ぢやないですか？>横山さん（苦笑）。藤岡のゴールなのに、自分が決めたようなチャーリーのパフォーマンスには笑った。いいぞ、もっとやれ！もちろん、チャーリー自身が決めれば言うことはない。石津のFKもお見事でした。あんなん、持つてるんだ。おみそれしました。

それにしても、メドウに電光掲示板？いつのまに？？去年、Hondaサマに胸を借りた時は、まだ、手動式だったよね？立派になっちゃって……。泣いちゃっていいかな？今後の活躍を楽しみにしています。

さて、この結果、2回戦はG大阪。ボクにとっては、初めてのパナスタ。何が何でも現地に駆けつけなきゃね。（ぐん）

●試合が終わってスタンドから出る時、中京大のベンチ外メンバーのコ達と一緒にだったので「勝てると思ったでしょ」と訊くと「はい、2-1になった時は」と即答でした。うんうん、そうだよ。ぼくも、「負けた」とは思わなかったけど「負けでも納得」と思ったからね。

前半からずっと中京大のサッカー。バランスよく網を置いて、掛かったら速攻。おまけに、ウチのレジスタは今季初スタメンの生地。網に掛かりまくりでした。前半終了間際に石津のFKが（おそらく壁に当たって）入らなかったら……。もともと、生地は後半から左サイドにまわったらスピードも活きるようになった。彼の場合は「使う」より「使われる」方がいいのかも。

後半に再び突き放されて、相手は書生さんだからこのまま止まらないかも……と不安になったけど、さすがに後半なかば過ぎると動きも鈍くなってきて、そこにチャーリー投入とか、おっと、これは久しぶりに見る、若いカラダを鰯（なぶ）る『手籠（てごめ）にするサッカー』ですか（これの一番スゴかったの東北リーグ1部時代のいわきFC）。

とにかく中京大のちゃんとしたサッカーに好感を持ちつつ、勝ってよかったという試合でした。（吉田鑄造）

## 【第10節】長野2-2岐阜

●横山新監督になって、はじめての上位チームとの直接対決。しかも、それが昨季まで横山監督が指揮していた長野。負けられない戦い、しかしまだ5月だというのに長野も暑い……アウェイG裏は日陰なので助かりました。だけど、ビジョンはそのアウェイG裏の屋根に付いているから全く見えないというアウェイの洗礼（苦笑）。さてスタメンは……うーむ、試合前の練習中に#14 本田拓也が故障したらしく、ボランチは#5へニキ。ここ数試合は#42 柏木陽介がベンチにもいないし、怪我人が増えてないか少し心配になるが、やるしかない。

……と、不安を感じつつキックオフを迎えたけれど、蓋を開けてみると試合は岐阜が優勢に。長野にボールを持たせつつ、高い位置でのシンプルなカウンター狙いが奏功したと思う。#38 藤岡浩介の先制点のシーンもそうだった。それにしても……公式戦5試合連続、Jリーグ戦でも4試合連続ゴールですか！？そんな選手ウチに今まで……あー、6試合連続の記録を持つてる選手がセルティックにいますね（笑）。このまま岐阜が優位に試合を運びつつ、しかし追加点は奪えないまま前半終了。

このまま後半も試合を優位に進めたい岐阜だったけれど、流石は長野のシュタルフ監督に対策を講じられて、劣勢に回る岐阜。そして……やっぱりボランチとCBの間が現時点では岐阜の弱点なんだよなあ……（溜息）。あそこにパワーのあるFWが突貫していくと、どうも守備が崩れて失点するケースが多いと感じる。そして、そうでなくても現在の岐阜ってCBタイプの選手が少ないのに、怪我人も出ているようなので、これを何とかしないとダメな気がしています。ただ、長野が2枚替え×2回で流れを変えて逆転し、逃げ切りを図ろうとした後、岐阜も3枚替えで追いつける。両チームともチャンスを作りながら決められないでいたけれど、後半アディショナルタイムに#7 村田透馬→#8 窪田稜の劇的同点弾！試合終了の笛が鳴らされると、ピッチに倒れる両チームの選手たち。互いに気力体力を振り絞っての死闘だった。

勝ちたかった。勝てなかった。でも負けることもなかった。最後に追いつくことができた、勝点1を奪えたという自信を、今後の糧にしなくてはならないだろう。（ささたく）

●追いついた直後の、あのパスがきちんと船津に収まっていたら……というのは、さすがに欲を掻き過ぎかなあ（苦笑）。でもね、もし、通っていたら、きっと『ブザービーターのような逆転サヨナラ勝ち』が、そして、『最高の週末』が待っていたと思うんだよなあ……。惜しかったよ。とはいえ、キッ

クオフから終了の笛が鳴るまで力の限りを尽くしてくれてたんだからね。アノ暑さの中で、最後まで戦い抜いてくれてありがとう！

それにしても、素晴らしいスタジアムだよ、この長野Uは。初めて来たけど、羨ますぎる。県内に2つもこんな専用スタジアムがあるなんてズルイぞ？長野県。わが県にも、いつかはこういうスタジアムが欲しいよね。できれば、ボクの目の黒いうちに(笑)。

しかし、大変な試合だったあと改めて。スタメンだったホンタクが、試合前のピッチ内練習でのアクシデントで出場出来なくなるという波乱の幕開け。一進一退、若干ウチに傾いてるように思えた攻防から先制したのはコチラ。これでリーグ戦は4試合連続ゴールかな？藤岡は、いよいよ、ノッてきたな。これから、さらなる本領発揮を期待してます。

で、先制したまではよかったけど、そこからは、ずーっと長野のターンになっちゃったな。特に、後半は開始直後から。マツタクのビッグセーブもあったけど、逆転された時には昨季がフラッシュバックしたよ。それが、あの同点弾！クボタン、スゴイ！トーマもスゴイ！特に、トーマ。短い時間でも結果が出せるようになってきたのかな？もっと早くに出してもよかったかも。あ、南長野で複数点取ったの初めてじゃないか？うん、何度反芻しても、スゴイ試合でした。

ただね、この長野に勝たないと……ってコトだよ。目的を達成するためには、ね。そう考えると、勝ち点1は最低限の結果かな……って。ツライねえ。キツイねえ。でも、やり切るしかないからね。

あと、今年の夏も暑いだろうなあ……って。大丈夫か？長良川の夏。相手側は前日と当日の2日間をガマンすればいいんだけど、そこで暮らさなきゃなんないウチの選手たち。コンディションの調整はしっかりと。念には念を入れてもらいたいです。(ぐん、)

●暑かったの。かなり。だから、この試合は実力的にも試合環境的にも今後の試金石になると思ってた。そして、まあその通りになったかな、と。

前半は岐阜の守備バランスがとてよくて。長野がプレス掛けてきたこともあって、先に止まるのはプレスの長野か、アウェーでベテランの多い岐阜か、という展開に。すると、(先制は岐阜・藤岡の見事なゴールだったけど)先に止まったのは岐阜だった。ホンタクが試合前の練習で負傷したかで(一度はスタメンに名が出たものの)試合には出ておらず、さらには藤谷、フレイレとCBに故障者が多くて、どうしても中央から一点突破全面展開な攻撃を受けると脆い。逆転された時は、これはマズいなと思った。

でも、そこは横山監督の『修正力』。ベンチメンバーは(上記ホンタクのアクシデントがあったので)6人、GKを除けば5人。すでに2回の交代で2人を投入していて、最後の交代チャンスで残る「まだ動ける」FP3人を全投入。それで、95分の同点ゴールにまでたどり着いてしまう。見事でした。

ぼくは、横山監督就任時に「7試合を5勝1分1敗ペース」と書いたの、この3試合が2勝1分なのは、問題ない。とはいえ、課題ははっきりと明らかに。これから暑くなる中で動けなくなる事態にどう対処するか。上にも書いた「一点突破全面展開」攻撃をどうくい止めるか。『前任者の負債』を処理するのは大変だろうけど、件の修正力で対処していただくと嬉しい。(吉田铸造)

## 【天皇杯2回戦】 G大阪4(延長)-2岐阜

●今年は11月末からW杯があるので、それまでにJリーグも全日程を終了させる必要がある。だから天皇杯も2回戦から10/16(日)の決勝戦までは平日水曜ナイター。だけど吹田は“近い(当社比w)”ので、多くの岐阜サポが駆けつけたと思う。

さてスタメンは……おっと、また長野戦からスタメンFP全員入れ替え……横山監督は選手の疲労度(最後まで走れるか)を重要視してるのかな？あるいは、『2セット分のチームづくり』なのかな？そして、試合序盤はもう少し様子見をするかと思いきや、積極果敢に攻める岐阜。受ける形になってしまったG大阪が落ち着かないうちに…とっていたら、おいおい先制しちゃったよ！？しかも守備を崩してだよ？！(苦笑)いやあ、これを見ただけでも……って、おいおいおい、2点目も崩して決めちゃったよ！？ウチがガンバに2点リードする事態が来るなんて！(歓喜)…とまあ、こまではよかった。だけど流石はJ1、ここからギアが一気に入る。個のレベルも残念ながらガンバの方が上で、1失点目は相手のスピードにやられた感じ。これで完全に勢いづけてしまった。前半は何とか1失点だけで抑えた岐阜。決定機も数回あったけれど…。そして後半早々にCKを決められて同点にされてしまう。あれも味方同士で交錯してるんだよなあ……。

この後、両チームとも選手交代を行って勝ち越すべくテコ入れを図り、またお互いに決定機も作り出すがゴールは生まれず…もちろん、その数はガンバの方が多くて迫力もあって。それでも延長戦に突入し、岐阜の選手たちは明らかに疲労度が強くなってた。フィジカル面だけじゃなくて、常に周囲を確認して素早く判断しなくちゃならないから、メンタル面も相当に疲労していただろう。だから、判断ミスも起きたのだろう。残念ながら、最後は地力の違いを見せつけられて、力尽きた。だけど、試合終了後にガンバの選手たちもピッチに倒れ込んでいた。『J1に本気を出させた』と言う意味では、誇っても良いのかもしれない。だけど、やっぱり勝ちたかった。だから本当に悔しい。それは選手たちも痛感しているだろう。何故負けてしまったのか、自分たちがガンバより足りない部分は何だったのか、そういった課題が明確になったことだろう。それが、今後のリーグ戦を勝ち抜く大きな糧になると信じたい。(ささたく)

●う～ん、残念！思わぬ展開だったけど、2点リードのまま前半を終えることができてたら……、と思わないでもない。いかにも早すぎた。ウチの得点もそうだし、相手のもそう。せめて、次の1点がウチだったら……。ワタルかな？あのシュートは。入ったか！と思ったんだけどねえ。後半は入りの5分……とっていたのに、いきなり、追いつかれたのも痛かった。そのうえ、あんな時間にパトリックや藤春が出てくるのはヒキョーだよ(笑)彼らを引っ張り出したのが素晴らしいよ。ただ、決勝点ももったいなかった。バックパスが出た瞬間、「短い！」って思ったら案の定。しかも、ソレがパトリックさんのまえに転がってはねえ。

とはいえ、後半でも延長になっても、少ないながらチャンスは作ってた。特に後半のチャーリーのシュート。悔しいけど、オフサイドなのがしっかりと見えたからね。

大阪さんも代表やら、ケガやらでメンバー組むのに苦労したみたい。そんな、絶好の機会を活かせなかったのは、ハーフタイムに「大分、どうしよう？」などという雑念を抱いてしまったボクのせいということで。それでも、120分間を全力で戦い抜いてくれた。拍手しかない。

あと、拍手と言えば、双方のクラブ。アレはよかった。ゼツタイ、選手の後押しになってたよ。さすがに人数では敵わなかったけど、ウチのクラブは大阪と対等に渡り合ってた。延長に入り、鳴り物が使用禁止の時間になってからのソレはことさらにアツかった。クラブと選手の声。そして、ボールが蹴られる瞬間の音だけが響く専用スタジアム。まさしく、フットボールの興奮に浸れたひとときでした。楽しくもアツイ120分間。本当にお疲れ様でした。夢のようなイイ時間があった。ありがとう！さあ、あとはリーグ戦だね。

あ、大事なコト忘れてた！復帰、おめでとう！歩夢！待ってたよ。ガンバ・サポさんの前で……ってのもよかったね。次からも期待してますよ～!!(ぐん、)